

ついに完成！ 中等部体育館

中等部の体育館の建設は慶應義塾創立150年記念事業の一環として計画されました。2009年9月の着工、翌年の秋の完成予定でしたが、途中文化財の発掘が行われ、地鎮祭は2010年2月となり、半年遅れの今年3月14日に完成しました。この体育館は明るく躍動感あふれる先進的総合体育施設として建設されました。地下1階地上3階で、屋上にはプール、多目的コートも兼ね備え、限られたスペースの中に運動空間を効率的に配置しています。

アリーナ、中体育室、小体育室は地下1階の同一フロアにあり、アリーナはバスケットコート2面の広さで、舞台も設置できます。エントランスホールは広く明るく、ガラス窓越しに地下のアリーナ・各体育室を見下ろすことができます。エントランスから体育教員室への移動もスムーズで、教員の目が届きやすい設計となっています。体育教員室のある2階は多機能を備えており、ランニ



ング可能なギャラリー、A V機器を備えたセミナールーム、情操教育の向上を図るための和室（茶室）があります。3階からは6コースのプール、テニスコート2面の広さの多目的コートに出られます。

外観はホワイトグレーのタイルによる縦方向を強調したデザインで、既存の校舎との調和が図られ、また緩やかに上昇するカーブの庇^{ひし}が、生徒の豊かな成長をイメージさせています。内装には自然素材が使用され、やさしく快適な環境となっています。

体育の授業、放課後の校友会活動に加え、選択授業、分割授業でも使用されています。以前は狭くなっていた複数のクラスの同時授業も余裕をもって行えるようになり、雨により綱町グラウンドが利用できないときにも体育館を利用して、十分な活動が行われています。これからは、春秋の校内大会、夏の水泳校内大会、展覧会など行事での利用も増えていきます。安全性と快適性が確保され、体育環境が整備された今、中等部生の健康の増進、より充実した生活が十分期待できます。

(中等部教諭・施設委員長 浜田伊佐男)

